



旅する公務員

第18弾

北海道木古内町

「旅する公務員」の目的

◆「A面」的目的

磐梯町役場の情報システムクラウド化により
テレワーク環境が整ったことから
磐梯町と交流のある自治体に職員を派遣し
実際に旅をしながらテレワークをすることで生じる問題を顕在化させ
ひとつひとつ障壁を解消していく。



◆「B面」的目的

自治体間の交流を推進し
互いの先進事例を共有することにより
地域課題の解決を図る。



◆「ボーナストラック」的目的

先方自治体の職員の方ばかりではなく
関係者や団体の方々
なにより住民の方々と
昼夜分かたず楽しく交流し お友達になる。

「旅する公務員」 第18弾の概要

旅した期間 2024年2月19日（月）～2024年2月22日（木）

旅した職員 デジタル変革戦略室 室長 小野広暁

旅した場所 北海道木古内町

「A面」 的 目的について考える

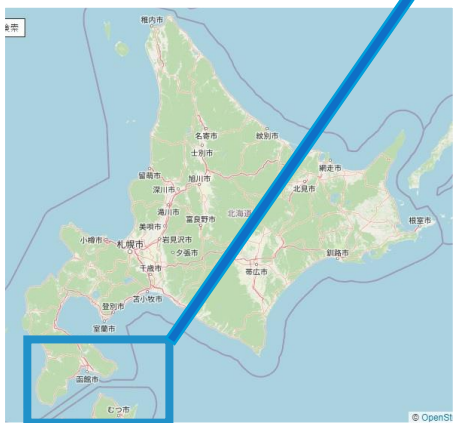
◆毎度おなじみ

- ・テレワークに適した業務とそうでない業務がある
 - 窓口・役場にしかない基幹系システム・現場のある業務はテレワークは難しい
- ・紙とハンコ、電話の問題
 - 解消するにはお金と、もう少し時間がかかる
 - オフィス改革・働き方改革として解決を目指す
- ・職員の意識
 - テレワークという選択肢があるという認識が定着
 - しかし、当たり前前にテレワークという雰囲気はない

「B面」 的 目的について報告①



OpenStreetMap



北海道 木古内町 Kikonai Town

面積 221.87km²

人口 3,632人 (2024.01.31)

渡島半島南西部に位置し、津軽海峡に面している。面積は広いがほとんど山。わずかな平野部にコンパクトにまとまった市街地が広がっている。昔から交通の要所らしく、人口は少ないが、さまざまな公共交通、公共施設、商業施設がある。

函館戦争の木古内の戦いの舞台。江戸時代に太平洋を往復した咸臨丸の沈没した場所。

1831年から続く神事「寒中みそぎ祭り」は町の観光イチ押し。

「B面」 的 目的について報告②

月日	AM	PM	宿泊
2/19（月）	移動（モバイルワーク）	移動（モバイルワーク）	木古内町内
2/20（火）	町内視察	木古内町 まちづくりセミナー	木古内町内
2/21（水）	木古内町役場 DX推進計画策定委員会	テレワーク	木古内町内
2/22（木）	移動（モバイルワーク）	移動（モバイルワーク）	—

「旅する公務員」北海道初上陸

4日のうち2日は移動に費やされましたが、比較的時間に余裕があったので、B面的目的 & ボーナストラック的目的は十分達成することができました。

しかし、インバウンド回復のためか、北海道新幹線は激混みで、車内でのテレワークには気を使いました。それでも、出先から仕事ができるというのは素晴らしいことだと改めて感じました。

「B面」 的 目的について報告③

◆木古内町役場

木古内町は1980年に9,514人だった人口が減少の一途をたどり現在3,632人。いわゆるよくある過疎地ですが、なんと2023年は北海道の自治体では唯一「転入超過（+10人）」になったそうです。町長・副町長・教育長は若い方ばかり、職員の年齢構成もとても若い（管理職が40代後半から50代前半）。若い皆さまの「この町を何とかしなければ」という思いが実を結びつつあるのではないかと感じました。



巨大戦艦を彷彿とさせる役場庁舎



小野・木古内町 鈴木町長・横瀬町 田端係長



中央公民館ではプログラミング教室も

「B面」 的 目的について報告④

◆木古内町「まちづくりセミナー」講演

木古内町の町民、議会議員、役場職員、企業や報道機関など様々な方々が参加する「まちづくりセミナー」で、磐梯町のデジタル変革の取り組みについて講演させていただきました。講演は2本立てで、磐梯町と交流のある埼玉県横瀬町まち経営課の田端係長が官民共創の取り組みについて講演されました。何の打ち合わせも行わなかった2本立て講演でしたが、いずれも全ては「人」が起点であるという話に帰結し、やはりこれが本質なのだと改めて確認することができました。



参加無料

木古内町 まちづくり セミナー



自治体DXの背景と先進事例から読み解く！
官民連携で進める持続可能なまちづくりへの挑戦！

日時：2月20日（火）15:30-17:30

場所：木古内町役場 3階 第1研修室

あらゆる業界においてDX（デジタルトランスフォーメーション）化が声高に叫ばれる昨今。各自治体ではリモートワークやWEB会議の導入など、住民サービスを提供しつづけるための変化が求められています。本セミナーでは、自治体の最前線で活躍の方々をお招きし、それぞれの自治体が目指す将来像と取り組みを進める中で抱える現状課題について、ディスカッションを通してお伝えします。

内容：タイムスケジュール

<オープニング> 15:30-15:35

<基調講演1> 15:35-16:20-「反デジタル派」が取り組む自治体DX
～現場からみた 行政DX実現のポイントとは～

<基調講演2> 16:25-17:10-「まちづくりの実践から考える」
～官民連携プラットフォーム「よこらぼ」を起点に～

<クロージング> 17:10-17:30-「木古内町の「イマ」と「ミライ」」



<基調講演1>
福島県横瀬町
デジタル変革戦略室長
小野 広暁 氏



<基調講演2>
埼玉県横瀬町
まち経営課 失敗推進係長
田端 将伸 氏

主催：木古内町

<お問い合わせ>

木古内町役場総務財政グループTEL：01392-2-3131

お申込みはこちら



申込締切日：2024年2月20日

「B面」 的 目的について報告⑤

◆木古内町役場「DX推進計画策定委員会」 ※写真なし

職員9名と教育長・CDO補佐官で構成されるDX推進計画策定委員会にアドバイザーとして参加しました（教育長は教育委員会のため欠席）。

事務局である総務課長が議事進行し、①DX推進計画策定のパブリックコメントに対する回答 ②DX推進計画の内容について 検討が行われました。

パブコメは「高齢者が使えないデジタルを導入すべきではない」というデジタル二元論、回答は自治体DXの必要性を訴える内容で、町民理解のスタートを切ったばかりの苦労が伺われました。

DX推進計画の検討では、KPI（重要業績評価指標）の設定について議論されておられました。磐梯町の経験と反省から、KPIの設定も大切だが、数値ばかりではなく、取り組みにより町民や職員に生み出される価値を指標とする考え方も必要ではないのかと意見を述べさせていただきました。

委員会は予定時間を超え2時間にわたり活発な議論が行われました。木古内町役場の若手職員の皆さまに何か刺激を与えることができたならうれしく思います。

「ボーナストラック」的 目的について報告①

◆人口3,632人なのに「なんでもある」不思議な町

人口はとても少ないけれど、**新幹線**の駅もある、**ローカル線**（第三セクター）の駅もある、高速道路のインターチェンジもある、町を結ぶ**路線バス**もある、**タクシー**会社もある、**レンタカー**も**シェアカー**もある、**道の駅**もある、**スーパーマーケット**もある、**コンビニ**は何軒もある、**本屋**さんも**電気屋**さんもお**総菜屋**さんもお**菓子屋**さんもお**レストラン**も**喫茶店**も他にもお店がいろいろある、**ビジネスホテル**や**民宿**

などの宿泊施設もいっぱいある、かつて親不孝通りと言われた繁華街には**居酒屋**や**スナック**もいっぱいある、**警察署**も**消防署**も**病院**も**郵便局**も**銀行**も当然**農協**も**漁協**ある、**新聞社の支局**もふたつある、**宅急便の営業所**もみつつある、**アパート**もいっぱいある、**スキー場**も**温水プール**も**ナイター野球場**も**公園**もでっかい**公民館・体育館**もある（空き家がいっぱいあるのはどこでも同じ△）。

ないのは2011年度で廃止された高等学校くらいか・・・（現在は1時間かけて近隣の高等学校に通学しているとのこと）。



北海道新幹線 & 道南いさりび鉄道
木古内駅
いさりび鉄道の車両は懐かしのキハ系

「ボーナストラック」的 目的について報告②

人口規模では考えられない様々な公共交通、公共施設、商業施設が存在し、維持できているのは、昔から交通の要所であったことが要因だと思いますが（過剰な公共施設は財政を圧迫しているかも・・・）、人口が転入超過に転じたのは、こういった地域の利便性・魅力が伝わったものであり、広報に力を入れていけば、もっと移り住む人は増えると強く思いました。



道の駅でお出迎えする ゆるキャラ「キーコ」



みそぎ顔出しパネル📷



きれいに整備された駅前通り
早朝で閑散としているけどお店がいっぱい



👉
ご当地ガチャ

👉 キーコグッズ

「ボーナストラック」 的 目的について報告③



寒中みそぎ祭りで「水ごり」
が行われる佐女川神社

真冬に裸で一晩中冷水を
浴び続けるなんて
想像を絶しますが
これまで体調を崩した人は
いないとのことでした



画像は木古内町公式Webサイトより
寒中みそぎ（佐女川神社） | 木古内町観光協会
(town.kikonai.hokkaido.jp)

町産米を使用した日本酒「みそぎの舞」を
売ってる酒屋さん。たいへんおいしいお酒でした。



親孝行「木古内の坊」
銘菓も



ポストにもキーコ

「ボーナストラック」 的 目的について報告④



数奇な運命をたどった「咸臨丸」
明治4年に座礁、沈没したサラキ岬



木古内町郷土資料館「いかりん館」に展示されている
咸臨丸のものと言われる錨 
とにかくデカイ



役場に展示されている模型



咸臨丸デザインのマンホール



以上

「旅する公務員」第18弾
北海道木古内町

報告を終わります。

磐梯町役場
デジタル変革戦略室

室長 小野 広暁 



津軽海峡を望む「みぞぎ浜」 寒中みそぎ祭りのクライマックス「みそぎ」が行われる